

# 9月全学連大会へ!

2014年8月14日  
No.213

Tel 03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

## 8/13 武田君第1回公判が大高揚!



裁判後の総括集会で  
決意のシュプレヒコール!

### ただちに保釈をかちとろう!



「今すぐ武田君を釈放しろ!!」  
公判前に田辺裁判長を徹底弾劾!(東京地裁前)

### 【武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第2回公判】

9月10日(水)13時半～ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

### 【全学連第75回定期全国大会】

- ◆安倍政権たおそう! ◆全国大学に自治会を!
- ◆法大文化連盟委員長・武田君を取り戻そう!

9月3日(水)～4日(木) 東京・浜町区民館にて

参加費用=1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



8月13日、法政大学文化連盟委員長・武田雄飛丸君の「暴行」でっち上げ弾圧裁判第一回公判(裁判長・田辺美保子)が東京地裁にて行われました。

本裁判は、安倍政権の改憲・戦争攻撃と対決し、安倍の先兵である寺田最高裁体制を撃ち、キャンパスから戦争阻止・学生自治会再建をかちとっていく闘いです。この日のために首都圏をはじめ東北、京都、沖縄など全国から学友が大結集。わずか35席の法廷に127人もの傍聴希望者が集まる大注目の裁判となりました。

震え上がった法大当局は、芝昭彦(元汚職警官で法大お抱えの弁護士)を傍聴に入れるために大量のバイトを動員。過労死裁判で遺族の傍聴を妨害したワタミと同じ醜悪な姿をさらけ出しました。

13時半、武田君は傍聴人の万雷の拍手に迎えられながら元気に出廷。人定質問の後、検事によるでっち上げの「起訴状」が読み上げられ、弁護団による徹底的な求釈明の追求が行われました。検事は求釈明にはまったく答えず、さらに田辺裁判長は「検事による釈明は充分」で助け舟を出して裁判を進める許しがたい対応に終始。怒りに燃える弁護団から酒田芳人弁護士が、本件弾圧は不当な政治弾圧でありただちに公訴棄却しろとの申し立てを行いました。

いよいよ武田君本人が意見陳述に立ちます。武田君は、体制危機にのたうつ安倍政権の改憲・戦争攻撃を徹底弾効し、「『戦争か革命か』が問われる時代に突入した」と高らかに宣言。田中優子・法大総長に代表される、「リベラル」を標榜しつつキャンパスで新自由主義を推進するペテン師どもが安倍政権を「左」から支える先兵であり、本件弾圧はその証左だと喝破しました。さらに、法大当局・国



総括集会で武田君奪還への決意を語る  
東北大・青野君(左)と沖縄大・赤嶺君(右)

家権力の大弾圧に対して絶対反対を貫いてきた法大闘争が、4・25法大集会を頂点に新たな世代を獲得し、大前進していることに不動の確信を持って「本件弾圧は本質的に粉碎されている」と断言。安倍政権と田中総長を串刺しにする堂々たる意見陳述を法大当局・国家権力に叩きつけました。

弾圧をものともせず闘う武田君の姿に傍聴人から鳴り止まない拍手が行われ、震え上がった田辺裁判長はたまたま退廷命令を下す暴挙に出ましたが、この卑劣な弾圧をはね返し、藤田城治弁護士と石田亮弁護士からも8年半の法大闘争の正義性を示す堂々たる意見陳述が行われました。

公判終了後、弁護団はただちに保釈請求を提出。弁護士会館で行われた総括集会上では、鈴木達夫弁護団長から「安倍反動の一角である寺田最高裁体制と対決し、裁判員裁判や公判前整理手続き、証拠開示制限など被告人の防御権を踏みにじる刑事司法制度改悪を真正面から粉碎する裁判として、徹底的に闘う」という烈々たる決意が述べられました。

13日の公判をもって武田君奪還への大攻勢は開始されました！法大ー全国大学の現場から徹底的に闘いを巻き起こそう！安倍政権と田中総長打倒へ！8・17大集会の勝利に続き、9月全学連大会への大結集を！その力で9月10日の第2回公判と武田君奪還へ攻め上りましょう！

(首都圏学生・Y)



革命的弁護団の方々(左から鈴木弁護士、藤田弁護士、酒田弁護士、石田弁護士)

## 【当面する行動方針】

○ **“戦争・原発・首切りの安倍をとともに倒そう！” 8・17大集会**

～国境を越えた団結で戦争を阻止 福島と団結して全原発廃炉 労働者の団結で社会を変える～

8月17日(日) 正午～ 日比谷公会堂(東京・日比谷公園内)にて